

V-Lowマルチメディア放送
ヒアリング ご説明資料

平成23年8月26日

RKB毎日放送株式会社

説明内容

①V-Lowマルチメディア放送への参入に関する考え方

V-Lowマルチメディア放送の制度枠組み

についての意見公募および参入希望調査について

②RKBラジオの災害時対応

1. RKBラジオの取り組み

2. 東日本大震災についての対応と今後の課題

①参入希望調査・意見公募について

1. ハードの具体的な整備計画・出資計画について

… RKBでは現在のところ考えておりません

2. 電波利用料の負担について

… 新しいメディアであり、多様なソフト育成のためにも
現行ラジオ放送の特性係数を上回る特段の
ご配慮をお願いしたい

3. ソフトのビジネスモデル

… 当面、現在のアナログAMサイマルに加え
簡易なデータ放送を想定

4. 希望セグメント数

… アナログAMサイマルと簡易なデータ放送が可能
な帯域、1／5セグメント程度を想定

①参入希望調査・意見公募について

5. ソフトの参加主体について

… RKB毎日放送株式会社

6. 端末普及のための具体的な動き

… 現時点においては具体的な動きはしていないが
各キャリアの携帯端末、及び各メーカーの自動車
に出来る限り多く搭載されるよう協力して行きたい

7. 災害情報提供の具体性

… 音声情報による災害情報の提供を基本とし、
研究会報告にあるASPなどの情報集約された
ものがあれば積極活用して放送して行きたい

① 参入希望調査・意見公募について

8. 課金認証などプラットフォームの機能・主体

- … 無料放送を考慮しており、当面課金については考えていない

9. 技術的に具体的な検討を進められるものがあれば

- … 現在テレビのデータ放送サービス『よんday』を行っている
技術的、費用的に見合えばこれを取り入れて行くことを検討したい

②RKBラジオの災害時対応

その1～RKBラジオの取り組み～

1. 緊急時に対応可能な編成・体制

- ・自社制作率69% 生放送率75%
- ・報道部所属の泊まり勤務者により深夜も緊急対応可能
- ・緊急放送対応訓練の定期的な実施

2. エリアにおけるRKBラジオ

- ・現在の放送エリア内のRKBラジオ聴取者は約180万人
福岡県内のみの計算では約70万人（12～69歳男女）
- ・聴取者からのメール・FAX等は1日、500通以上
- ・聴取者から信頼され、親しみを持たれるRKBラジオの
各パーソナリティやアナウンサー
例：『RKBラジオまつり』では例年2日間で約8万人の来場者

3. 災害時の情報収集機能

- ・RKB報道部との連携により自局で様々な情報収集可能
- ・各地方自治体・インフラ会社（電力・ガス・NTT等）警察署
消防署・交通情報センター・気象協会など様々な情報収集
ルートとの日頃からの関係作り
- ・RKBの社員、家族、関係者、外部スタッフ、そして何より
日頃のRKBリスナー（エリア内約180万人）が情報源

②RKBラジオの災害時対応

その2～東日本大震災についての対応と今後の課題～

1. 大震災発生後の対応

- ・震災発生直後より各自社制作ワイド番組で、震災関連放送
- ・3/19土 在福ラジオ6局同時生放送特別番組
「ライフ・サポーターあなたを守る防災ラジオ」放送
- ・6/27月 JRN九州6局ネット特別番組
「2011 風水害・あなたを守る情報ラジオ」放送
- ・7/2土 RKBテレビワンセグ・ラジオサイマル生放送番組
「災害発生！情報があなたを守る」放送

2. 被災地応援、支援活動

- ・『被災地へラジオを送ろう』プロジェクト実施(3/19-23)
家庭で使わなくなった携帯ラジオを被災地へ送りますという
呼びかけをし、わずか5日間で727台のラジオが集まり
報道取材クルーにより被災地へ届けた
- ・7/9土「スタミナラジオ」中西一清パーソナリティが宮城県内を
現地取材レポート。
- ・RKB募金(義援金)の実施(8/22時点で9500万超)。
- ・「RKBラジオまつり」など自社イベントでのチャリティ。

3. 今後の検討課題

- ・東北放送・岩手放送・ラジオ福島の実際の対応を研究し、
今後の放送対応に生かす必要あり
- ・細かい生活情報の必要性。
安否情報、避難所情報、道路・交通状況などのインフラ情報、
ボランティアなどの支援情報の収集・広報



今後の緊急災害放送対応に生かす